

令和6年（2024年）度行政評価シート

令和6年6月21日

評価者	総務部長 藤林 聖治
評価者	市民防災部長 永野 英樹

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-②観光基盤の整備・充実
目標とするまちの姿	世界中から訪れる観光客、子どもから高齢者・障害者など、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境が整備されています。また、自然災害等が発生した際の体制が整えられており、観光客が安心して観光できるまちとなっています。			
主な取組	(1) 観光施設の整備 様々な国籍・文化的背景を持つ人々や高齢者、障害者など、だれもが安全で快適に観光できるよう、ホスピタリティに配慮した観光施設の整備を進めます。 (2) 観光客の安全・安心の確保 災害や事件・事故など緊急事態の発生時でも観光客の安全・安心を確保できるような体制構築が図られるよう、防災・防犯・救急等と連携していきます。			

1. 前年度（評価対象年度）の当該施策の目標

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向けて、海岸への下水道排水設備の設置や観光案内板の改修等をすすめるとともに、観光情報を提供する観光案内所や海水浴場の適切な運営を行うことで、だれもが安全で快適に観光できるよう、事業を推進していく。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	100,069	123,169	173,286	142,744		
人件費	18,938	18,967	18,990	16,711		
総事業費	119,007	142,136	192,276	159,455	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費（千円）	人件費（千円）	総事業費（千円）	事業評価	貢献度	最終評価
	総務-22	観光施設整備事業		38,428	3,038	41,466	現状維持	A	現状維持
	市民-15	観光案内所運営事業		23,494	1,519	25,013	現状維持	A	現状維持
	市民-16	観光施設整備事業		4,217	3,798	8,015	拡充	A	拡充
	市民-17	海水浴場運営事業		115,033	11,394	126,427	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

総務部

材木座公衆トイレの解体及び公衆トイレの維持管理を行った。
※実施できなかった事業とその理由
滑川公衆トイレについては、仕様変更（山留設置）等により年度内に工事が完了しなかったため、翌年度に繰り越した。

市民防災部

ハイキングコース上の危険木の緊急除去や観光案内板の改修等を行うとともに、材木座、由比ガ浜海岸への海岸下水道排水設備の設置に向けた設計業務を行った。また、観光案内所や海水浴場を運営した。

※実施できなかった事業とその理由

海岸下水道排水設備については、下水道認可区域に編入する必要が生じたことから、工程見直しにより、工事の実施が出来なかった。屋内Wi-Fi接続設備整備補助金は、募集を行ったが、応募が無かった。海岸整地については、海水浴場開設期間中に実施するほど、砂の移動が起こらなかった。

※ 前年度外部評価における提言・質問に対する回答

提言・質問	回答
「鎌倉市観光客等地震・津波対策ガイドラインの改定、事業者等への周知を通じて、災害時の体制整備に努めていく。」としているが、観光客のみならず、市民でさえもガイドラインの内容はおろか存在も知られていないため、ガイドラインをどの様に浸透させるかについて、現実的で実効性のある方法を議論するべきである。	→ 「鎌倉市観光客等地震・津波対策ガイドライン」については、令和5年6月に改訂を行っています。改訂版については、商工会議所や観光協会を通じて各団体や事業者に周知を行っているほか、市のホームページ上でも公開を行っています。今後も、市民や観光客への効果的な周知方法を検討し実施していきます。
市の特性(完全な観光都市ではない)から、あまり積極的に市が観光のPRをするようなことは必要ないと考えられている様だが、Bleu Flagのような国際認証を得られるほどビーチの保全に力を入れているといった事はアピールするべきである。	→ 情報発信については、市の魅力を伝えることで市のブランド力が高まるような内容を精査しながら、良質な情報発信を積極的に行っていくと考えています。
現在はスマートフォンを活用している旅行者がほとんどなので、案内板を設置するより、各言語のデジタル案内板をダウンロード出来るよう、各所にQRコードの案内板を設置してどうか。	→ 新しい技術の導入については、観光客の利便性向上のため、検討を行い必要な整備を行っていきます。

5. 成果指標

成果指標①	公衆トイレのバリアフリー化率						出典	所管課調べ		
令和元年12月19日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	61.7	目標値	61.7	61.7	64.7	64.7	67.6	67.6	%	21/33
		実績値	61.7	61.7	61.7	63.6				
		達成率	100.0%	100.0%	95.4%	98.3%				

成果指標②	観光案内看板の多言語対応率						出典	所管課調べ		
令和元年12月19日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	97.0	目標値	97.0	97.6	98.5	99.5	100.0	100.0	%	202/206
		実績値	97.6	97.6	98.0	98.0				
		達成率	100.6%	100.0%	99.5%	98.5%				

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

市民防災部

公衆トイレのバリアフリー化率については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を先送りした関係上、改修工事が進んでいないが、材木座駐車場トイレの解体を実施したことにより実績値が上昇した。
観光案内看板の多言語対応率については、観光案内板の新設及び地区案内板の改修を予定していたが、オーバーツーリズム対策として、鎌倉高校前1号踏切マナー啓発看板の設置を優先したことにより、作成に至らなかった。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

市民防災部

公衆トイレのバリアフリー化や観光案内板の多言語化は、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境が整備されている、目標とするまちの姿を実現させるための構成要素の一つであり、目標は達成されていないものの、進捗はしており、今後も改善に向けて取り組んでいく。

観光案内所運営事業は、観光案内所を運営することで直接観光客へ観光情報を提供するもので、観光客の利便性を向上させており、貢献度は高い。

観光施設整備事業は、公衆トイレや観光案内板等の施設の整備を行っているもので観光客の受け入れ体制を強化するもので、貢献度は高い。

海水浴場運営事業は、夏の海岸利用者の安全対策、風紀維持や海岸美化に取り組んでおり、貢献度は高い。

8. 今後の方向性

総務部

公衆トイレの改修については、観光課が策定する計画に基づき改修を進める。

市民防災部

公衆トイレについては、令和5年度から改修業務を公的不動産活用課で行うこととしたが、令和6年度から隔年で改修工事を進めるべく、改修優先度を把握した上で計画的に改修を進めるとともに、バリアフリー化を図っていく。

観光案内看板等については、多言語化されていない看板を中心に、改修優先度を把握した上で効率的に整備及び管理を行っていく。

また、観光案内所の適切な運営に努めるとともに、海水浴場の課題について整理検討を進める。

世界中から訪れる観光客、子どもから高齢者・障害者など、すべての来訪者が安全で快適に過ごすことができる環境を整備することに加え、自然災害等が発生した際の体制を整え、観光客が安心して観光できるまちとなるよう取り組む。

9. 今年度(評価年度)の目標

総務部

観光課が策定する計画に基づき公衆トイレの改修等を進める。

市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向けて、海岸への下水道排水設備の設置や観光案内板の改修等の観光基盤の整備・充実を図るとともに、観光情報を提供する観光案内所や海水浴場の適切な運営を行うことで、だれもが安全で快適に観光できるよう、事業を推進していく。